

地 方 分 権 推 進 事 例

地方公共団体名	宮 城 県	T E L	0 2 2 - 2 1 1 - 2 5 3 9
担 当 部 課 名	保健福祉部障害福祉課	F A X	0 2 2 - 2 1 1 - 2 5 9 7
事 業 名 (条 例 名 等 含)	障害者芸術祭開催事業（とっておきの音楽祭）		
実施（制定）年月	平成 13 年 10 月	実施（制定）予定年月	/
分 類 番 号	1	地方分権改革の主な項目	8
事業実施（条例設置） 等の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・平成13年に本県で開催された「第1回全国障害者スポーツ大会」は国内最大の障害者スポーツの祭典であり、宮城県での開催が記念すべき第1回となった。また、同年に開催された「第56回国民体育大会」も含め、「バリアフリー国体」として位置づけ、各種の取り組みがなされた。 ・このような中、国内最大のスポーツ大会に対応して、障害の有無に関わらず参加できる国内最大級の音楽祭「とっておきの音楽祭」を開催し、音楽という共通の媒介を通じて共に楽しみ理解し合い、ノーマライゼーションの理念の浸透を図ることができた。 ・「とっておきの音楽祭」の開催は、参加者や観客の反響を呼び、各方面から継続の要望が上がり、平成14年9月に第2回の音楽祭を行ったところである。 		
事業（条例）等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽祭開催以前に、一般公募等によって当日の参加者を決定した上で、ボランティアのミュージシャン達が、福祉施設や在宅の障害者グループのもとを定期的に訪問し、共に練習しイベント出演に備える。 ・音楽祭当日は、仙台市内各所に設置した各ステージで同時多発的に演奏するとともに、メイン会場でのフィナーレでは、合同演奏・合同合唱のほかに、障害者・健常者のプロの演奏を実施する。 ・市民広場では、祭りの雰囲気盛り上げるために、ステージ演奏のほか、ブースでの食品や物品販売、フリーマーケット等を開催する。 		
事業（条例）等の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の障害者の心身機能訓練，生きがいの創造，社会参加意欲の促進が図られる。 ・県民にノーマライゼーションの理念を浸透させる一助となる。 		
事業（条例）等の実施 に当たっての制約等 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・当音楽祭の開催経費の財源から、県補助金を除いた分については、協賛金や広告収入等で賄っているが、毎年、その収入確保が重要な課題である。 		
事 業 費	当 初	12,800千円（平成13年度）	
	ランニングコスト（年間）	3,000千円（平成14年度）	